

地域のイベント

毎月27日 防犯パトロール (15:00 黄金町交番集合) ※12月は20日(金)

12月 歳末夜警

日ノ出町: 12月28日(土)~12月30日(月) 21:00 日ノ出町町内会館 集合
 12月29日(日) 子ども夜警 20:00 日ノ出町町内会館 集合(保護者同伴)
 初黄町: 12月28日(土)、29日(日) 21:00 初黄町内会館 集合
 12月30日(月) 18:00 初黄町内会館 集合(保護者同伴で子どもも参加OK)
 赤英町: 12月28日(土)~12月30日(月) 20:00 赤英町内会館 集合

1月12日(日) 餅つき(日ノ出青年会) 10:00~ 日ノ出町町内会館

1月26日(日) 餅つき(赤英町内会) 10:00~ 赤英町町内会館

2月3日(日) 節分祭 17:30~ 子神社

12月15日(日) はつこひ市場 クリスマス・マーケット
 黄金町のローカルマルシェです。クリスマスのパンやお菓子なども並びます。
 11:00~15:00 高架下スタジオSite-D 集会場、かいだん広場

アートイベント

12月15日(日) のきさきアートフェア クリスマス・マーケット
 アーティストやクリエイターのオリジナルグッズが並びます。
 11:00~15:00 高架下スタジオSite-C 工房

ぷらり あんな店こな店

日の出薬局

進駐軍の残る街で、カレーショップを経て1953年に開局。困っているお客さんのために終電時間まで営業していたことも。創業当初より独立した薬局として健康相談、医薬品を販売。現在は漢方素材を用いた独自のクラフトコーラも販売しています。モットーは、「日の出薬局が地域の健康を守るファーストアクセスとなること」。薬局を気軽に利用してもらえらる雰囲気作りと地域振興に力をいれています。京急ストア建て替えに伴い一時的に移転しますが、処方箋がなくても、健康に関することならどんなことでもご相談ください！



黄金町エリアマップ



初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会では初黄・日ノ出町地域を安全で暮らしやすい街にするためのルールづくりに取り組んでおります。2024年1月1日に能登半島地震が発生しました。この令和6年度能登半島地震は震度7(マグニチュード7.6)ととても大きいもので今年の大震災とも言われています。その地震の影響により津波も発生して能登町の白丸で高さ4.7メートル、珠州市飯田港で高さ4.3メートルありました。今後自分たちの町にも災害がいつあってもいように、毎年、日ノ出町、初黄町、赤英町の



放水訓練に参加する小林英二中区長



石川町と連携して、運河を活用した物資輸送訓練を行いました

三町内合同防災訓練が行われています。今年も10月13日に行われ、その訓練で150人分のおにぎりや豚汁を作り配給しました。地域の連携も防災にとって大事なものと感じましたし、皆が無事に大切な命を守れるものだという話もあり今年もいい訓練だったと思います。

初黄・日ノ出環境浄化推進協議会では、日ノ出町から黄金町エリアのまちづくりと地域活性化や防災防犯の活動を行っています。その一環として、協議会まちづくり部会がまちの人の声を聞ける企画として「初黄日トーク」を開催しています。今回は20代の若者世代の方たちにご参加いただき、これからのまちについて語っていただきました。

今回の「初黄日トーク」では、子育て世代のパパ、ママに参加していただき、子育てとまちについて語っていただきました。

今回も前回同様、司会の山森氏の軽快な進行に沿って、子育て世代のトークが進みました。自己紹介から始まり、故郷って何だろう。子ども達にとっての故郷とは？ 故郷からイメージする風景は？ それは子育てに必要なのか？ 等、今回の参加者である親世代の心にある故郷を思い浮かべながらのトークの様子をお伝えします。

子育て中の親世代が故郷を語るとき、その風景には大人の目があったことが思い返されます。お年寄りやご近所さんの見守りの目があり、安心できたことがあります。外で遊んでいても、いつも誰かしら大人が見守ってくれた感覚があります。平和で安全な時代だったという時代的背景があったように思います。

では、いまの時代はどうか？ なかなか子どもにとって安全とはいえない世の中になり、こどもを外であそばせるのは不安がつきまといます。安心できる大人の目が減り、声掛け事案など大人に気をつけなければならない時代になってしまっています。むしろ家の中のほうが安全だという状況もあり、いまの子ども達は外に出ない。そのような中、どうすれば子ども達を外に呼び出すことができるのだろうか。子ども達が今住んでいるところを故郷と呼ぶには、どうすればよいのだろうか。ネガティブな思い出があっては、故郷と

ファシリテーター山森裕毅（哲学者）
哲学と対話の塾を主宰しています



ふこの町を ふるさとにしたい

その2

2024年9月16日(月・祝)



は呼べない。大人になって振り返ったときに、いろんな楽しい思い出があるところが故郷となる……など子ども達にとってこの地域が故郷になるためにはどうすればよいか、といった思いがテーマになったトークでした。

昔と比較して大きく変わったものに、ライフスタイルの変化が挙げられます。今のライフスタイルが、地域とのつながりを難しくしているのではないかと。また、大人同士のお付き合いが減ってしまった分、気を遣うことが増えて出ていけなくなってしまったのではないかと。きっかけになる行事が少ないのか。また行事に参加する際、気持ちの上でハードルが高く感じてしまうから出ていけないのか。

半面、最近この地域では大人も子どもも何かに参加するためのきっかけは沢山あるはず。もしかしたら、それらが上手く結びついていないのかもしれない。

今回の「初黄日トーク」でも、現役子育て世代が肌で感じていることをお聞きすることができました。子ども達にとって楽しい思い出を作ってあげたい、楽しい思い出が残る故郷にしてあげたい、と願う気持ちが共通していること等、それぞれが出来ることをやろうとしている様子などが伺えました。

イベントや地域行事などは、コロナ禍が終わってからほとんど元に戻ってきたように思います。協議会でも、地域の皆さんにつながりを持ってもらえるよう、今回のトークの内容を参考にさせていただきます。

京急百貨店×黄金町エリアマネジメントセンター コラボレーション企画

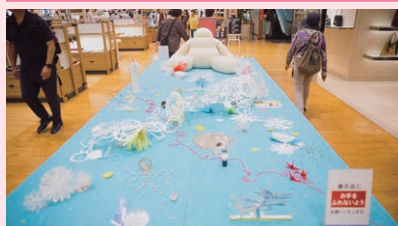
上大岡で黄金町バザール

～アートの種が風に飛んで花を開く～

2024年9月18日から10月16日までの期間、京急百貨店の開店28周年を記念して、「上大岡で黄金町バザール～アートの種が風に飛んで花を開く～」を開催しました。黄金町エリアマネジメントセンターが毎年行っているイベント「黄金町バザール」を京急百貨店、ウイング上大岡および京急線黄金町駅～日ノ出町駅間の高架下エリアを会場として開催。各会場での作品展示に加え、アーティストによるワークショップやアート作品の販売会、スタンプラリーも実施しました。



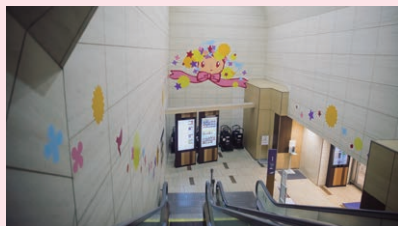
京急百貨店、ウイング上大岡



さとुरさ《メダムK(バージョン)》
SUZUKIMI《空の風の海の大地のささやきを知る。》

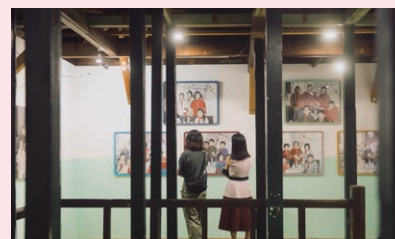


瀧健太郎《渦》



竹本真紀《京急百貨店28周年オメデトピラちゃん》

京急線黄金町駅 ～日ノ出町駅間の高架下スタジオ



馬延紅《小学校》



太田るなシャワ《チリ山》

Photo by Liu Shujia

イベントの様子



左) 太田るなシャワ
「その場で肖像画を描いてもらおう！」
右) 山田裕介
「カクカクのオブジェ制作」

Photo by Liu Shujia

京急百貨店と黄金町がつながった

山野真悟（黄金町バザール ディレクター）



撮影：笠木靖之

今年の黄金町バザールは6月に終わった。でも、秋に何もしないわけにはいかなという気持ちもあった。で、上大岡の京急百貨店さんに、秋に何か一緒にやりませんか、とご相談したところ、前向きに考えていただいた。京急百貨店さんと私たちは2017年からの付き合いがある。それが『上大岡で黄金町バザール』ということになり、主会場を京急百貨店、ウイングに置いて、黄金町はサブの会場にした。黄金町に限定せず、横浜のアーティストを紹介する、という方針で、アーティスト選考の範囲を少し広げた。百貨店オープン28周年記念イメージ、スタンプラリー、ワークショップ、グッズ販売を含め、大変楽しい展覧会になったと思う。次回もこの協力を続け、さらに規模を大きくして開催したい。京急線につながる二つの街を、これからも多くの人が行き来してくれるように。

上大岡で黄金町バザールに参加して

橋村至星（参加アーティスト）



百貨店店内に自分の絵画作品を点在させると言う展示方法は初めての試みでしたが、生鮮食料品が描かれた絵画が、煌びやかな婦人服売り場に置かれている様はギャラリー展示とは全く異なる見え方、かつシュルレアな雰囲気になったのではと思います。また京急百貨店28周年記念キービジュアルは完全デジタルワークとして作成しましたが、今までにない大きいサイズのパネルにして頂き、新しい経験かつ勉強になりました。こちらのデザインを用いた物販の掛け紙等も知人に好評でした。参加させて頂いてありがとうございました。

黄金町レジデンスアーティストへインタビュー

ヴィルジリオ・ネット（ブラジル出身）

日ノ出町駅～黄金町駅間の高架下スタジオでは、常時50組以上のアーティストが滞在制作を行なっています。今回は、ブラジルから約3ヶ月間滞在をしていたヴィルジリオ・ネットさんに特別インタビューをしました！

黄金町に来たきっかけは？

日本のカルチャーに興味があったので、日本で滞在制作できるプログラムを探していました。特に黄金町のレジデンスは、横浜や東京へのアクセスがしやすく、多国籍なアーティスト・コミュニティがあることに大きな魅力を感じました。

普段はどんな作品をつくられているの？

アートは自分の好きなことや見たこと、感じたことを表現できる自由な言語だと思っています。答えを出すだけではなく、時にはさま

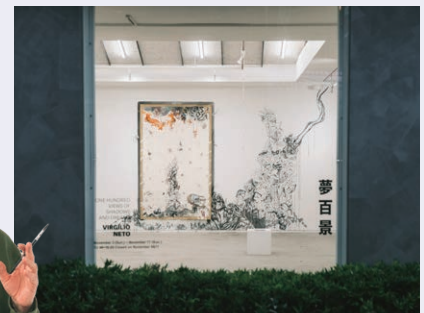
ざまな問いが生まれてくるのも面白い。ドローイングを描くことは日記のようなもので、自分の日常の体験が多く反映されています。

レジデンスはどうでしたか？

本当に楽しかった！ 都市と比べると小さな街だけど、非常に有機的な場所だと感じました。毎日色々な人と出会い、面白い出来事が沢山起きて、自分にとってすごく刺激的な体験になりました。



ネットさんは11月3日から11月17日まで高架下 Site-Aギャラリーで個展「夢百景」を開催しました



2024年10月20日(日) 第一北部地区大運動会

前日から当日未明まで雨が降っていましたが、当日の朝は曇り空だったので、第一北部地区大運動会は開催されました。幼児や敬老者の競技に心癒され、今後の地域を背負う若手が競う各町対抗リレーや綱引きに興奮するとともに楽しい1日でした。結果は1位 宮川町 同率2位 花咲町1丁目と日ノ出町でした。綱引きの優勝チームは野毛1丁目 各町対抗リレーの優勝チームは宮川町でした。

